

短期研修アンケート

研修名：2014 年度モナシュ大学春期短期研修

回答者：24 名（研修参加者 26 名）

回答者学部

工学部	6
医学部	6
文学部	3
情報文化学部	3
農学部	3
経済学部	2
生命農学研究科	1

回答者学年

U1	8
U2	9
U3	3
U4	3
M1	1

A. 留学に至った契機や留学の準備について

① 留学前の準備（応募のきっかけ、語学対策など）

- 友人に誘われたことと以前から海外での生活に興味があったことがきっかけです。語学対策は映画などを英語で聴くことぐらいしかしていません。
- 外人と話すのに緊張しすぎる癖を無くしたい→少し国際化したい。TOEFL の点数をあげたい。
- 英語のニュースを聞いたり、英語の授業を音読したりしていた。
- 去年の春休みが暇だったため、今年は何かをやろうと思った。親が海外で働いているので、自分も将来海外で働くことに興味があった。その練習。
- 大学在学中に留学したかった。話し合った結果、このプログラムが私に一番合っていると判断したから。
- 浜口総長や尊敬する先輩のすすめ。
- 留学せずして社会人になったときに、後悔したら・・・と思って申し込みました。留学に興味は薄かったけど、行った人はたいてい全員良い経験になったというので。
- 高校時代から留学をしたいという気持ちがあり、しかしいきなり半年とかは難しいと悩んでいたところ、このプログラムがあったので参加した。
- オーストラリアに行きたかったのと、英語学習のモチベーション維持のため、準備は TOEIC など。
- 週二回の英語塾にて会話をしていた。
- 大学生のうちに海外で生活してみたいと思った。
- 準備は特にしていない。
- 会話の機会を増やしたい。
- 友だちの誘いで応募。語学対策は英会話スクール（週一回）と独学のみ
- 留学室に行って、チラシを見つけて応募した。
- 留学してみたいという漠然とした思いがあった。TOEFL、IELTS は受けた。

- 海外留学室？の話を聞きに行つて。
- 海外で生活してみたいから。
- 友だちの勧めで説明会に行きました。大学で学びたいことを見つけに行きました。大学で学びたいことを見つけに行きました。
- 春休みを有効活用。
- 英語を習得したいと思い応募した。
- 語学対策。
- 1年の交換留学を考えていて、留学生センターの先生に勧められたため。
- TOEICの勉強しかしていませんでした。
- 先輩からきいた。
- コミュニケーション能力を高めたかったので応募した。

②本研修に参加した目的、また、本研修に参加して、その目的は達成できたか。

- オーストラリア人の生活や文化に触れて自分の価値観や見聞を広げること、海外の人とのコミュニケーションに慣れることの二つが目的でどちらも達成できたと思います。
- 名大からだから安全だと思った。上記の目的は達成した（外人と話すのに緊張しすぎる癖を無くしたい→少し国際化したい。TOEFLの点数をあげたい。）
- 自分の英語がどこまで通じるか知りたかった。もっと英語を磨いてもう一度ファミリーに会いたい。
- 海外へ出ることになれる。達成できた。
- かねてからの目的の達成度は十分ではないが、その他で得たものがある。
- とにかく英語を話せるようになりたかったので、ホストファミリーがフレンドリーでたくさん話してくれたり、遊んでくれたりして、たくさん話す機会を得ることができてけっこう上達できました。
- 自分の英語能力の向上、外国の文化で知ることが目的。ほぼ達成できたように思う。
- 英語学習へのモチベーションは上がったと思う。また英語をもっと話せるようになりたいと思った。
- 語学力の向上
- モナシュでの生活は充実していたが、単位にならないプレゼンのために色々準備をしなければいけないということが気になり、楽しめなかった点もある。
- 英語で学びたかった。以前に比べ、聞きやすくなった。
- まだ達成できていない。もう少し自分の思いを英語で話せるようになりたい。
- 英語で話す聞く能力を伸ばしたかった。海外生活やホームステイという貴重な体験ができた。
- 1ヶ月という期間が参加しやすかった。長期留学を視野に入れて、短期の体験をしておきたかった。もっと海外で学びたいと思ったのでよかった。
- 自分の現在の英語力を試してみたかった。十分達成できた。

- 視野を広げることができた。
- 学びたいことを見つけることができ、本当に良い1ヶ月の留学になりました。リーディング、スピーキングの上達を目標にしていたのですが、まだまだです。しかし話すことに関して、自信ができました。たとえ通じなくてもある語彙を駆使することを覚えました。
- 英語に対する苦手意識を減らすため、参加後、軽減された。
- 英語をうまく話せるようになることはできなかったが、英語を話すことに自信がもてるようになった。
- 語学力の向上、思っていたよりも望めなかった。
- 英語を少しでも日常的に使えるようになりたかった。ためらいは減った。
- 英語を喋れるようになりたい。達成できた。
- まあまあ

③留学前の海外渡航経験

ある	15
ない	9

渡航先

- カルフォルニア（高2）／修学旅行
- シンガポール（小3～6年）／親の仕事、タイ（高1）／旅行
- オーストラリア（高2）／研修で1週間
- グアム（学部2）／観光で4日間、米東海岸（学部3）／英語モチベーションアップ11日間
- アメリカ（高1）／観光で1週間、フランス（学部1）／観光で1週間
- イギリス（学部1）／旅行
- マレーシア／祖母に会うため、上海（学部1）／中国語研修
- 中国（中3）／交換留学1ヶ月
- 韓国（学部1）／旅行で3日、フランスイタリア（学部2）／旅行で10日
- アメリカ（11か月～小2）／親の仕事で7年間
- アメリカ（学部1）／観光、ドイツ（学部1）／観光
- オーストラリアシドニー（中3）／学校交流1週間
- 中国（中1）／観光で5日間
- タイ（小6）／観光
- アメリカ（3歳）／親の仕事、韓国（学部2）／旅行

B. 研修内容について

④授業の感想、学生同士の交流など

- 授業では先生やクラスメートと英語で話し合うことができ、全体的に楽しかったです。特にモナシユ大学の学生と文化交流会を行って、お互いの文化や流行を教え合うことができたのが自分にとって為になったと思います。
- 面白かったし、様々な人と（オーストラリア住民や日本の他大の生徒など）仲良くなれた。東北大学が名大の半額ぐらいだったので嫉妬した。
- クラスのみんなと仲良くなれた。留学後も交流が続くのは素晴らしいこと。
- たくさんのイベントが用意されていて、現地の人と話せる機会が多かったのがよかった。
- そこそこの課題が多くハードなときもあったが、無理な量ではなく、力がつくと思った。他大学の友人ができ楽しい思い出も増えた。

- クラスは日本人が多いので、困った時に日本語を使うという逃げ道がある。
- すごく良い先生が担任でうれしかったですが、月～金と聞いていたのに、木金は別の先生が来て、最終週はさらに別の先生が来たので、一貫性が無く、見捨てられた感、満載でした。あと、女の先生は自分ばかり話して、私たちに発言のチャンスをくれなかったので、嫌でした。
- 授業はもちろん、すべて英語で様々な苦勞があったが、それは自分が望んでいた苦勞だったから、それでさえ楽しかった。日本中だけでなく、オーストラリアにも友達ができてとてもうれしかった。
- モナシュ大学での授業は非常に良かった。テーマが一貫しており、オーストラリアについてよく学べた。日本の他大学の学生との交流はとても面白かった。だが、他大学との旅費や授業の違いに疑問を持った。
- 授業はとても楽しく親しみやすいものであった。現地の学生との交流機会は少なかったように感じた。
- モナシュでの授業内容は、とてもよく現地の学生と交流する機会がたくさんあった。つたない英語でも理解してくれた。ただ名大での授業は正直無意味に近いと思った。
- 他大学の学生と交流でき、協力し合えたことがよかった。
- 日本の学生交流（同じプログラムに参加する）は、深くできた。現地の学生の交流をもっとすればよかった。授業はおもしろかった。
- 大学内での交流が増え、違う学年とコミュニケーションをとる機会が増えた。とても楽しい授業だった。
- 日本人に囲まれているのが良くもあり、悪くもあり、現地の学生と関われる機会がほしかった。
- 他大学との交流ができてよかった。モナシュ大学での授業には大変満足している。名大でのグループプロジェクトは説明や目的がよく判らず、また準備期間も不足しており、ただ大変だった。
- 文化や国際社会について、主に学習した。より専門的なことについても学習してみたいと思った。
- オーストラリアの授業は本当にすばらしかったです。内容もオーストラリアについて多くのことを知ることができ、全て英語でやることで困難なことも多かったですがいい経験でした。私のクラスは英語のしゃべりたがりが多くて、使える機会が多くて最高のクラスでした。とても仲良しになりました。
- 大学での授業は、グループワークが多くてよかった。
- 授業は会話が中心の授業だったので、英語を話す練習がたくさんできてよかった。
- 担当の先生がユニークな方でまた熱心で楽しく学べた。
- 楽しかったが、もとたくさん Conversation がしたかった。
- 日本人の友だちがたくさんできた。授業は日本人だけが積極的に動けばローカルの友だちもたくさんできると判った。
- 現地学生と話せてよかった。もっと多国籍なクラスを期待していた。

C. 生活について

⑤ 住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど

- 住環境や健康管理は特に問題がなかったです。食事はホームステイ先やレストランに応じた文化が色濃く表されており、楽しむことができた。
- 意外と何も持ってこなくてもなんとかなる。みんな 30 キロ近くあったけど、16 キロ←帰国時のスーツケースでもいける。太りやすい環境だから、運動はしないとダメ。
- ご飯の多さに驚かされたが、徐々に慣れた。気候の変化が厳しいので体調を崩す人が多かった気がする。

- 快適であった。
- とてもきれいだった。トラベラーズチェックを持参したが、ドル建て目つ、ビザのだったので、監禁が大変でした。American エクスプレスがおすすめ。
- ファミリーのごはん、すごくうれしかった。
- 特に問題はなく、快適な4週間だった。水着、サンダルは持っていて損はない（ステイ先で使っていた）。
- ホームステイ先が、非常に良いところだったので、衣食住に問題は特に感じなかった。カードは全体に持っていった方が良かった。
- 食生活・・・それぞれがいろいろな文化を持っており、多くの国々の食事を食べれたことはよかった。持参してよかったもの・・・ドライヤー（家の人は意外に持っていない）、帽子（必須） 金銭・・・カードでほとんどのものを買っていたため、楽である一方で、いくら日本円換算で使ったのかが判らないので困った。
- 物価が高いこと以外は特に問題はなかった。お土産はキットカットなどの食べ物の方が喜ばれた。
- 保険に入っていてよかった。病気になった時に使えることももっと強調して説明してほしい。
- 薬、現金6万円
- 食生活に困ることはなかった。様々な国の食べ物が食べられる。
- 最後の2日間だけ、ステイ先を変えなければいけなかったのは、少し辛かった。結果的には楽しい経験になった。
- ホストファミリーによって、大分環境は異なるため、事前の登録アンケートでしっかり書いておくことが重要。生活が規則正しいので、健康的だった。プラグは二つ以上必要。現地で使える携帯は非常に便利だった。
- ステイ先によって左右される部分は多い。換金した現金、日本円、カードで大丈夫。爪切りやドライヤーは持っていった方がよい
- 日本食が恋しくなりますが、他に困ることはとくにありませんでした。酔い止めは絶対に持っていくべきです。
- 物価が高いので、思っていたよりもお金を使った。
- ホストファミリーはよく話しかけてくれる人で、ホームステイが楽しかった。
- ホームステイ先に不便はなく、むしろ快適だった。
- 日本にいるよりもはるかに健康的な生活。食事は量的に少し辛かった部分もあった。日本食は恋しくなる。持参してよかったものは洗剤、下着は毎日自分で手洗いをした。
- ホームステイは良い経験でしたが、もう一度したいとは思いません。
- とくになし。快適だった。

D. 危機管理について

⑥身を守るために気をつけていたことや危険を感じたことなど

- 貴重品を常にバックの中に入れておき、チェックも頻繁にしました。
- ケータイはなくしたくないと思いました。
- 荷物を置きっぱなしにしない

- 酒飲んでる中年の男に絡まれた。日本と同程度の危険度。
- 財布にひもつける。
- 日本（東京）と同じ。ただし、リュックは持っていなかった。
- 自分の手荷物は常に自分の目に届くようにしていた。
- パスポートを身に付けない。危険を感じたことはなかった。
- お金の両替を頼まれたことがあった（後で危険だったとのこと）、カバンは必ず自分の近くに置く。
- 必ずスーツケースに鍵をかけ、財布は必ず持ち歩いていた。
- パスポート類の貴重品や携帯、Mykiをおとさないように紐をつけたり、常に無くさないように注意していた。
- ホストファミリーとの連絡はこまめに行った。暗くなり夜遅い時間には一人で外出するのは控えた。
- あまり危険を感じなかった。夜は早く帰るようにしていた。
- 終電、終バスの時間は気をつける。
- 特に危険なことなどはなかった。
- スーツケースに鍵をかけること（キャッシュ、パスポート）
- 外国人にナンパされたときは、少し怖かったです。日本語でかえすといいです。
- かばんを常にしめるようにした。
- 英語で宗教勧誘された。
- 保険に入る。パスポート等は鍵をかけて保存。
- 貴重品の入ったカバンは肩からななめがけして、肩紐をつかんでいた。
- 街中で財布をださない。
- カバンはおきっぱなしにしないようにした。

E. 今後の進路や目標、就職活動について

⑦今後、交換留学に応募する予定はありますか。

ある	1
ない	11
わからない	12

ない

- リスニング能力をきたえて、よりコミュニケーションを円滑にとれるようにしたい。
- これ以降はサークルに時間を当てたいと考えているから
- 自分の研究課題の進行状況と見合わせて
- もう就活&卒業なので

- 海外で特に学びたいと思う分野がない
- もう十分だと思う
- 長時間行く時間がありません
- 海外経験は幼少期にあるため、日本語でしっかり専門の勉強を行い、英語も日本で頑張ろうと思う
- 1年近くは長い気がする。日本語で専門の講義を理解するのも難しいから
- 大学を4年で卒業したい
- 金銭面的に

わからない・迷っている

- 行きたいけど金ないし、頭良くないから奨学金もらえない。
- 金銭面の負担が大きいため
- 歳
- 学部の勉強が大変
- 自分の能力ではまだ不十分だと思うから
- 浪人しているため2年遅れるのは割とつらい
- 今回の留学がとてもよかったから、1年留学にも興味が湧いた
- 1年、休学しなければならないため
- 簡単に決めれることではないから

⑧今後の進路や目標があれば教えて下さい。また留学の前後で進路や目標に対しての考え方や気持ちの変化があれば教えて下さい。

- リスニング能力をきたえて、よりコミュニケーションを円滑にとれるようにしたい。
- 半年くらいは留学したいと考えている
- TOEFLで良い点がとれるように勉強し、また留学したい
- もう少し英語で交流できるようになりたい。自然と英語がでてくるようになりたい。
- 留学を通して世界観が持てて、自分の視野を広げることができたと思う。海外ではたらくことも少し考えるようになった
- もっと英語も学部の専門も、学ぶ機会を大切にしようと思うようになった
- この留学で学びたいことが見つかりました。大学1年を通して高校とのギャップや専門の選択などで、やみくもでしたが、これだというものが見つかりました。
- 留学前を特にやりたいことがなかったが、英語を使っていきたいと思った

- 1年間の留学に行きたいと思っています。
- 勉強しなければならないという気持ちになりました
- 英語を話せるようになりたいという意欲は高まった
- 海外学会へもう一度行く

F. 留学を終えて感じること

⑧留学を終えて今の率直な気持ちや感想、印象に残っていることなどを教えて下さい。

- かけがいのない経験をすることができ、とてもよかったです。
- たけえよ。でもそれくらい価値があったよ。
- ホストファミリーに会いたい。電車が深夜に止まってしまった時、ホストファミリーが心配して迎えに来てくれた(1時AM)
- 楽しかった
- 使わないと英語は上達しないなと改めて実感
- 行く前の予想より、短くて、充実していて、行ってよかったです。ホストファミリーの影響が大きいです
- 人生で最も充実した1ヶ月だった。もっと英語や海外の文化を深く学びたいと思った
- 新しいものの見方ができるようになった
- 楽しかった(もちろん英語能力の壁を感じたが周りの人たちはみな優しく、高い意識をもって取り組むことができた)
- 先生と学生の関係が平等で、気軽に話しかけることができた。日本の教授とは対照的だと感じた
- 授業は難しかったけれど、良い経験ができました
- 少し英語を聞き取れるようになってうれしかった
- 留学に行ったことを本当に良かったと思っている。ホストマザーととてもいい交流をさせていただいて、一生の思い出になると感じた
- とても充実した毎日でした。いい経験になったと思う
- オーストラリアの学生だけでなく、他大学にも友人ができてよかった
- 英語はもちろん、コミュニケーションをとることに対して、寛容になれた気がする
- 名古屋の調査が重いです。向うの準備でいっぱいいっぱい
- 行くまでは一か月は長いなと考えていたが、行ってみると1ヶ月はあっというまに過ぎていった。とても充実した1ヶ月だった。
- 1ヶ月は短く、もう少しオーストラリアでの生活をしたいと思った
- とても良い経験になった。たくさんのひとに出会えてよかった
- ホームステイがとても楽しかったです。マザーがとても優しくなった。いろいろな大学の子と仲良くなれた。

- オーストラリアに行ったのに、日本人の友だちがたくさんできてうれしい。
- 自分がいかに限られた環境にいたかを思い知った。
- ほっとしている

⑨留学したことで、何がどのように変わったと思いますか？

- 英語を勉強するモチベーションの向上
- 精神的にタフになった。オーストラリアの味方が変わった。モチベーションが180度変わった。
- 自分の意見をはっきり口にできるようになった。
- 語学力のなさを痛感し、もっと自由に英語を扱えるようになりたいと思った
- 人のオーガナイズ能力、決断することの大切さ
- 積極性、主体性がアップしました
- 英語を話すことに対する抵抗が少なくなった
- 日本って良い国だと思った
- 英語能力をさらに向上させなければという意識が上がった
- 英語を話す自信がついた。文法を気にしてばかりいたら、コミュニケーションが成り立たないと思った
- 日本での当たり前をあたりまえと思わなくなった
- 自分の意見を少しははっきり言えるようになった
- 海外生活で英語リスニング力は伸びたと思う。様々な国の人々とのコミュニケーションの取り方や生活の違いを受け入れることを知った
- 友人の幅が広がったし、積極性をもとうと思うようになった
- 英語で話す自信がついた
- 海外へのイメージがより鮮明になった
- 見方が全く変わりました。見方を変えるということ、肌で感じました
- オーストラリアには様々な国の人がいるので、者の価値観、考え方が違った。それにより視野を広げることができた
- 視野が広がったと思う
- 今後やりたいこと、頑張りたいことができた
- 英語で話すことに対する、抵抗が減った
- 英語に対するモチベーションと、自分の物事に対する積極性が変化した（向上した）
- 英語を話すことに抵抗がなくなった

⑩現在、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

- この留学では日本の大学に居るだけでは、味わえないことをたくさん経験できるので、おすすめします。
- 行く前は本当に怖かったけど、何か自分を変えたい、一生の思い出を作りたい、英語の成績を上げたい思いで参加して、今では本当によかったと思っています。自分の人生にもう少し色をつけてみませんか？留学なら十人十色の色が見つかりますよ!(^^)!
- 金は高いけど、モナシユのプログラムはおすすめです
- 興味があるなら、行って損はない
- 例えばモナシユの留学プログラムなら、前回行った人に話を聞くのがベター。大いに参考になるはず
- ホームステイがいいと思います。一人暮らしより。
- 行って絶対に損ではないから、少しでも気になっていたら行くべき。
- 迷っているなら行った方が良くと思う
- 最初の留学としてとても気軽に良い機会なので、まよっている人はぜひ行くことをおすすめします。
- 金額は高いですが、良い経験が出来ると思います
- 1度してみると、人生観が変わります。日本だけ見ていては駄目だなあ思いました。
- 迷う前にまずは行ってみるのが大切だと思う。その一歩を踏み出すかが、自分の今後を変えると思う
- 試してみるといいと思います
- 自分は本プログラムが初海外でしたので、海外経験がない方は是非！
- 行くべきです。考え方が変わります。人が変わります。
- 初めは戸惑うことが多いかもしれませんが、留学は自分を充実させることができます。
- この英語研修で、英語を話すことに自信がもてました。長期を考えているけど、不安という人にとって、いいと思う。
- 迷っているならばした方がよいと思います。
- 意欲があれば、誰でもいけます
- 大学中に一度は行くべきだと思う

以上